

生態系ネットワーク形成に向けた短期目標に対する取組の進捗及び評価と 中期目標に向けた取組の方向性(案)

徳島県流域コウノトリ・ツルの舞う生態系ネットワーク形成の目標

- 2021年1月に策定した「徳島県流域コウノトリ・ツルの舞う生態系ネットワーク全体構想」では、長期、中期、短期の目標を設定している。

長期目標 ～2050年	
<p>◇徳島県でコウノトリ・ツル類がくらしていることが日常の光景となり、これらが舞い降りる川や田んぼは、カエル・魚・虫などの生物多様性が豊かで、良好な水辺の景観が広がる場所となっている。</p> <p>◇川と里での生態系ネットワークの取組が、山や海へ広がり、各地域特有の自然資源や歴史・文化・伝統を最大限に守り活かした産業が営まれている。</p> <p>◇地域に住み、働き、訪れる人々が、自然とのつながり・人とのつながりを実感できる、徳島県独自の魅力的で持続性のある地域づくりが展開されている。</p>	
<p>生息環境づくり</p> <p>【コウノトリ】 徳島県内の河川流域でコウノトリが繁殖・定着し、年間を通じた身近な存在となっている。堤内・堤外が一体となった生態系ネットワークの形成が達成されている。</p> <p>【ツル類】 冬の訪れと共にナベヅル・マナヅルの群れが飛来し、徳島県内の河川の流域で越冬する姿が見られる。堤内・堤外が一体となった生態系ネットワークの形成が達成され、国内における安定した新越冬地になっている。</p>	<p>地域・人づくり</p> <p>○コウノトリ・ツル類を指標とした徳島県内の生態系ネットワークの形成が、国内のみならず国際的にも注目されるようになり、ブランド農産物や訪日観光客を通じて地域経済や地域活力を担う有力な資源となっている。</p> <p>○コウノトリ・ツル類の存在を地域の新たな誇りとし、その生息環境の保全・再生・管理が地域の多様な主体による連携と協働で持続的に進められ、人々はその結果として様々な自然の恵み（生態系サービス）を享受できるようになっている。</p>
中期目標 ～2030年	
<p>生息環境づくり</p> <p>【コウノトリ】 吉野川流域で、3～5ペアのコウノトリが繁殖し、安定した生息地となっている。那賀川・勝浦川流域周辺でも、コウノトリが繁殖している。また、徳島県内の他地域においても、採食環境と営巣環境の保全整備が進められている。</p> <p>【ツル類】 徳島県内へのツル類の渡来、越冬が続いている。吉野川、那賀川、海部川等の河川区域及び周辺地域で、ねぐら環境、採食環境の保全整備、人の利用の調整が継続して行われている。また、徳島県内の他地域においても、ねぐら環境、採食環境の保全整備が進められている。</p>	<p>地域・人づくり</p> <p>○徳島県内の各地で関係者の理解が進み、コウノトリ・ツル類との共生に資する農産物やその加工品のブランド化が行われ、国内外への流通・販売が展開されて、経済効果を上げている。</p> <p>○徳島県内の各地で関係者の理解が進み、コウノトリ・ツル類を活かした観光が行われ、経済効果を上げている。</p> <p>○多様な主体の連携・協働の取組と地域間の交流がさらに拡大している。コウノトリ・ツル類との共生に取り組む徳島県や各地域の地域イメージが向上し、地域の関係人口が増えている。</p>
短期目標 ～2025年	
<p>生息環境づくり</p> <p>【コウノトリ】 吉野川流域で、採食環境と営巣環境の保全整備が継続して行われ、複数ペアのコウノトリが繁殖している。また、那賀川・勝浦川流域周辺でも、採食環境と営巣環境の保全整備が進められている。</p> <p>【ツル類】 ツル類の安定したねぐら環境の確保に向けて、吉野川、那賀川、海部川等の河川区域での砂州や干潟の保全・再生及び人の利用の調整、周辺の農地での冬期湛水やため池の冬期の水位調整等が進められている。河川の周辺地域で、採食環境の保全整備が進められている。</p>	<p>地域・人づくり</p> <p>○先行取組地域の農業関係者の理解が進み、コウノトリ・ツル類との共生に資する農産物やその加工品を認証する制度が拡充されている。</p> <p>○先行取組地域の観光関係者の理解が進み、コウノトリ・ツル類を活かした観光に向けた受け入れ体制や施設整備が促進されている。</p> <p>○コウノトリ・ツル類が各地域で受け入れられ、多様な主体の連携・協働の取組と地域間の交流が行われている。また、2025年大阪・関西万博等の機会を通して、コウノトリ・ツル類と共生する取組がアピールされ、徳島県や先行取組地域の認知度が上がっている。</p>

生態系ネットワーク形成の検討と取組の推進（2020～2025年度）

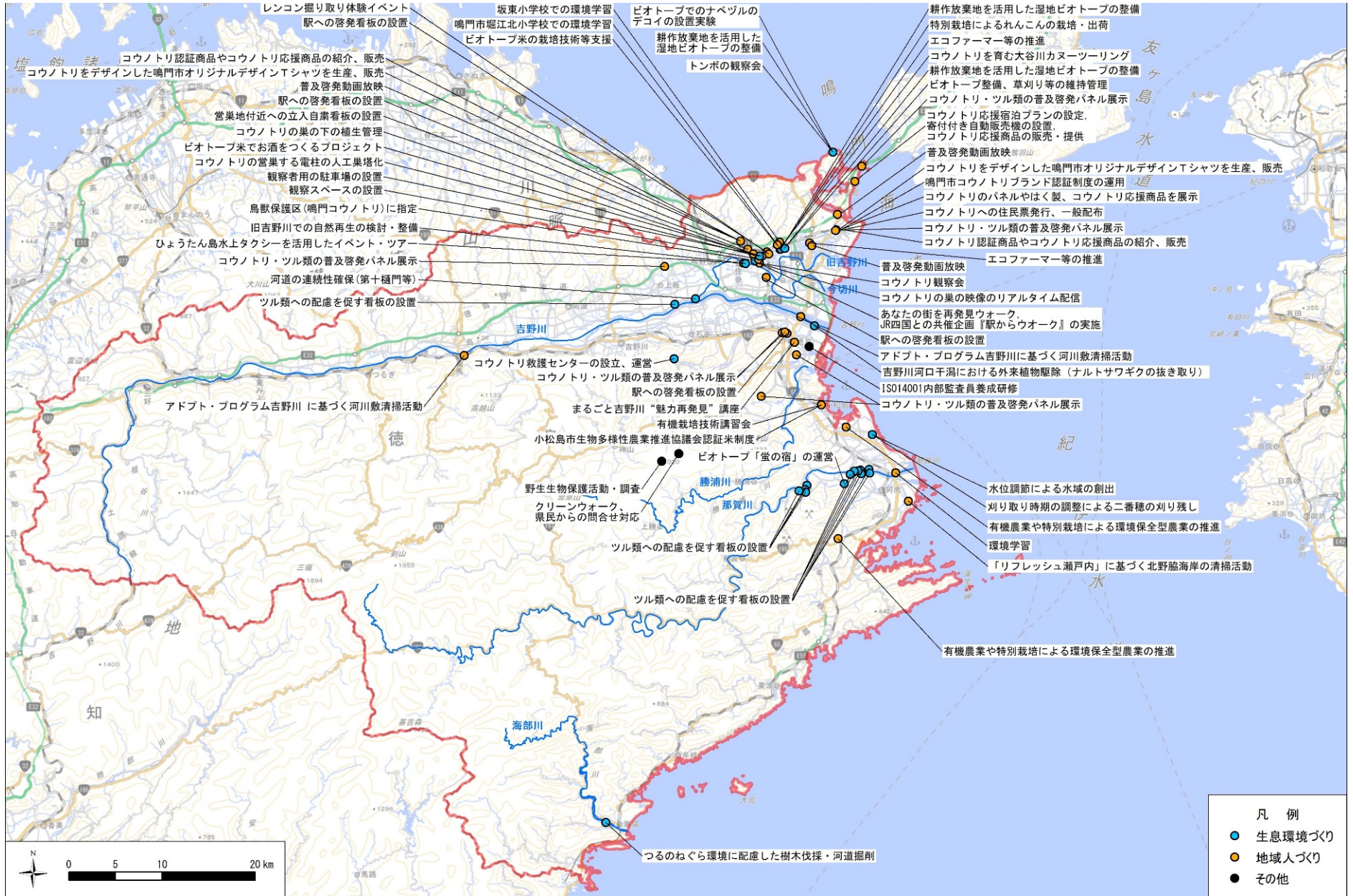
- 徳島県流域コウノトリ・ツルの舞う生態系ネットワークの短期目標（～2025年）の達成に向けて、協議会やワーキングにおいて情報共有・意見交換を行い、生態系ネットワーク形成の検討を進めてきた。
- 各地域において、自治体や団体、企業、学校等が連携を図りながら、取組が実践されてきた。
- 本年度(2025年度)は、協議会委員へのヒアリング、アンケートを行い、これまでの取組と短期目標の達成状況について整理した。

協議会・地域ワーキング

	2020年度 (令和2年度)	2021年度 (令和3年度)	2022年度 (令和4年度)	2023年度 (令和5年度)	2024年度 (令和6年度)	2025年度 (令和7年度)	2026年度 (令和8年度)
						短期目標 評価年	中期目標
徳島県流域コウノトリ・ツルの舞う生態系ネットワーク推進協議会	協議会の発展移行	協議会の開催					
地域ワーキング							
鳴門地区生息環境づくりワーキング (設置日：2018年11月27日)				2023年1月10日解散			
旧吉野川津慈地区管理運営あり方検討ワーキング (設置日：2023年6月6日)					2023年11月16日～休止		
旧吉野川津慈地区湿地環境づくりワーキング (設置日：2024年1月31日)					ワーキングの開催		
鳴門地区地域・人づくりワーキング (設置日：2019年9月30日)	ワーキングの開催						
那賀川流域地域ワーキング検討会 (設置日：2025年5月22日)						ワーキング検討会の開催	

短期目標達成に向けたこれまでの取組（2020～2025年度）

短期目標達成に向けて行われた生息環境づくり、地域・人づくりに係る取組



短期目標達成に向けたこれまでの取組（2020～2025年度）

コウノトリの生息環境づくり

コウノトリの採食環境の保全・創出

〈吉野川流域・周辺地域〉

【旧吉野川津慈地区湿地環境づくりWG（徳島河川国道事務所）】

- ・旧吉野川での自然再生の検討・整備

【徳島河川国道事務所】

- ・第十樋門等河川横断工作物での魚道整備による河道の連続性確保

【れんこん研究会】

- ・中干し時期の調整、冬季湛水の実施

【鳴門市】

- ・牛屋島ビオトープの整備、とくしまコウノトリ基金と連携した維持管理

【とくしまコウノトリ基金 等】

- ・耕作放棄地を活用した湿地ビオトープの整備

〈那賀川流域・周辺地域〉

【小松島市】

- ・有機栽培技術講習会を開催し、有機農業栽培技術に関する講義を実施

【日亜化学工業(株)】

- ・工場内に整備したビオトープ「蛭の宿」を運営し、淡水魚やゲンジボタルの飼育、絶滅危惧種であるカワバタモロコやオヤニラミの保護・繁殖を実施

〈その他地域・徳島県全域〉

【JA徳島中央会】

- ・環境と調和のとれた農業生産を徳島県と連携して推進

【徳島県】

- ・環境負荷低減型農業の推進（市町村、関係機関等と連携した生産から消費までの活動支援、「みどり認定」制度の推進）

【JA徳島県】

- ・特別栽培によるコウノトリれんこんの栽培
- ・ビオトープ米に関する支援（とくしまコウノトリ基金のビオトープ米の栽培・小学校の環境学習への支援）

【地域の農業者や住民】

- ・農薬や化学肥料の使用量を減らした米やレンコンの栽培
- ・農業者や住民によるビオトープ整備



希少種情報につき、
委員のみ

旧吉野川津慈地区の試験施工



湿地ビオトープの整備

[写真提供：認定NPO法人与とくしまコウノトリ基金]

短期目標達成に向けたこれまでの取組（2020～2025年度）

コウノトリの生息環境づくり

コウノトリの営巣環境の保全・創出

〈吉野川流域・周辺地域〉

【徳島県】

- ・コウノトリ（鳴門板東ペア）の営巣する電柱を令和2年度に買い取り、人工巣塔化
- ・人工巣塔の管理（周辺の草刈り、土地賃貸借料の支払い）

【とくしまコウノトリ基金】

- ・コウノトリの巣の下の植生管理

〈那賀川流域・周辺地域〉

【JA東とくしま】

- ・阿南市の耕作放棄地を活用し、人工巣塔と餌場となるビオトープを設置

コウノトリへの人による悪影響の緩和

〈吉野川流域・周辺地域〉

【徳島河川国道事務所】

- ・河川巡視時に、河道掘削と合わせて創出したコウノトリの採食環境（浅場、湿地）を中心としてコウノトリ飛来時の観察を実施

【大麻町商工会】

- ・公式HPでのコウノトリの紹介、コウノトリの観察ルールの説明

【鳴門市】

- ・観察者用の駐車場・観察スペースの設置
- ・立ち入り自粛を求める看板の設置
- ・HPで、コウノトリ観察時のマナーについて啓発

【徳島県】

- ・鳴門市〇〇地区営巣地周辺を鳥獣保護区、及び特定猟具使用禁止区域（銃器）に指定

その他：コウノトリの足環装着・負傷個体への対応 等

〈その他地域・徳島県全域〉

【徳島県、コウノトリ定着推進連絡協議会、とくしま動物園 等】

- ・コウノトリへの足環装着、健康診断、血液検査等
- ・負傷個体の救護、死亡個体の対応

【日本野鳥の会徳島県支部】

- ・コウノトリ死亡個体の同定補助

【徳島県、徳島市、とくしま動物園 等】

- ・コウノトリ救護センターの設立、運営



電柱巣塔の管理

[写真提供： 認定NPO法人与とくしまコウノトリ基金]



コウノトリ雛への足環の装着・健康診断

[写真提供： 認定NPO法人与とくしまコウノトリ基金]

短期目標達成状況の評価

コウノトリの生息環境づくり

短期目標

吉野川流域で、**①採食環境と営巣環境の保全整備が継続して行われ、②複数ペアのコウノトリが繁殖している。**

また、**③那賀川・勝浦川流域周辺でも、採食環境と営巣環境の保全整備が進められている。**

個別評価

①吉野川流域では、採食環境・営巣環境の保全整備が継続して行われている。



②コウノトリの複数ペアの繁殖には至っていないが、同一ペアで、9年連続して繁殖している。



③那賀川・勝浦川流域周辺においても、採食環境・営巣環境の保全整備が進められている。



総合評価



取組状況

・採食環境の保全整備：

旧吉野川での自然再生による湿地環境づくりや、農薬・化学肥料の使用量を低減した農業の推進、湿地ビオトープの整備・運営等の取組が、**吉野川や那賀川・勝浦川の流域及びその周辺で継続的に進められている。**▶**①③**

・営巣環境の保全整備・人による悪影響の緩和：

人工巣塔化した電柱の管理や観察者用の駐車場・観察スペースの設置・管理、観察マナーの啓発等が継続して行われている。

▶**①③**

徳島県内では、コウノトリの飛来が多数確認されている。吉野川流域において、複数ペアによる繁殖には至っていないが、2017年から**9年連続で継続して繁殖に成功**している。▶**②**

短期目標の評価と取組状況から見えてきた課題

- ・いくつかの箇所では、採食環境・営巣環境の保全整備として、農薬・化学肥料の使用量を低減した農業の推進や湿地ビオトープの整備等が行われているが、**一部地域に限られるなど、限定的な取組となっている。**
- ・複数ペアの繁殖に至っていない。

ツル類の生息環境づくり

主な取組例

ツル類の採食環境の保全・創出

〈吉野川流域・周辺地域〉

【徳島河川国道事務所】

- ・ 吉野川の高水敷における特定外来植物の防除

〈那賀川流域・周辺地域〉

【那賀川河川事務所】

- ・ 那賀川や桑野川における特定外来植物の繁茂状況の確認・防除

【日本野鳥の会徳島県支部・太田川土地改良区】

- ・ 刈り取り時期の調整による二番穂の刈残し・水位調節による水域の創出

【小松島市】

- ・ 有機栽培技術講習会を開催し、有機農業栽培技術に関する講義を実施

【日亜化学工業(株)】

- ・ 工場内に整備したビオトープ「蛭の宿」を運営し、淡水魚やゲンジボタルの飼育、絶滅危惧種であるカワバタモロコやオヤニラミの保護・繁殖を実施

〈その他地域・徳島県全域〉

【コウノトリ基金】

- ・ 耕作放棄地を活用した湿地ビオトープの整備
- ・ ビオトープへのデコイの設置実験

【JA徳島中央会】

- ・ 環境と調和のとれた農業生産を徳島県と連携して推進

【徳島県】

- ・ 環境負荷低減型農業の推進（市町村、関係機関等と連携した生産から消費までの活動支援、「みどり認定」制度の推進）

【地域の農業者】

- ・ 農薬や化学肥料の使用量を減らした米やレンコンの栽培



ナベヅルのデコイの設置実験（大島田地区）
[写真提供：認定NPO法人とくしまコウノトリ基金]



二番穂の刈り残し
[過年度協議会使用より引用]

短期目標達成に向けた取組（2020～2025年度）

ツル類の生息環境づくり

ツル類のねぐら環境の保全・創出

〈吉野川流域・周辺地域〉

【徳島河川国道事務所】

- ・吉野川の河口干潟における特定外来植物の防除
- ・樹木伐採等によるレキ河原の保全・再生

〈那賀川流域・周辺地域〉

【那賀川河川事務所】

- ・河床掘削による浅瀬の整備

【日本野鳥の会徳島県支部・太田川土地改良区】

- ・水位調節による水域の創出

〈その他地域〉

【徳島県】

- ・ナベヅルのねぐら環境の創出に配慮した樹木伐採・河道掘削



河川敷への啓発看板の設置
[過年度協議会使用より引用]

ツル類への人による悪影響の緩和

〈吉野川流域・周辺地域〉

【徳島河川国道事務所】

- ・吉野川の河川敷にツル類への配慮を促す看板を設置
- ・河川巡視時に、ツル類飛来時の観察を実施

〈那賀川流域・周辺地域〉

【那賀川河川事務所】

- ・那賀川の河川敷にツル類への配慮を促す看板を設置

【那賀川流域地域ワーキング検討会(那賀川河川事務所)】

- ・那賀川の河川敷にナベヅル啓発看板を設置



その他：ツルの飛来状況の情報収集 等

〈その他地域・徳島県全域〉

【日本野鳥の会徳島県支部】

- ・徳島県及び四国地方へのツル飛来状況の確認、情報収集

お願い ナベヅルを驚かせないで!!

●この付近には、11月～3月頃にかけてナベヅルが飛来し、日没～明け方まで、河原を「ねぐら」として利用します。

●ナベヅルは、100m以内に人や車両が近づくと飛び立つため、夜間の河原への進入はご遠慮をお願いいたします。

▼ツルについて
鳥類保護のお願い

・国土交通省 那賀川河川事務所 工務課 TEL.0884/22-6542
・那賀川流域地域ワーキング 鳥類コアワーキング

那賀川河川敷へ設置されたナベヅル啓発看板
[画像：那賀川河川事務所記者発表資料より引用]

短期目標達成状況の評価

ツル類の生息環境づくり

短期目標

ツル類の安定したねぐら環境の確保に向けて、
①吉野川、那賀川、海部川等の河川区域での砂州や干潟の保全・再生及び②人の利用の調整、③周辺の農地での冬期湛水やため池の冬期の水位調整等が進められている。

④河川の周辺地域で、採食環境の保全整備が進められている。

個別評価

①吉野川、那賀川、海部川等の河川区域において、砂州や干潟の保全・再生、特定外来生物対策等が行われている。	○
②河川区域において、人の利用の調整が行われている	○
③周辺の農地において、ねぐら環境の確保に向けた取組が行われている。	○
④河川の周辺地域において、採食環境の保全整備が進められている。	○

総合評価

○

取組状況

- ・ **ねぐら環境の保全整備：**
吉野川、那賀川、海部川等の河川区域での、レキ河原の保全・再生、浅瀬の整備、ねぐら環境に配慮した河道掘削や、特定外来生物対策等の他、周辺の農地での水位調節による水域の創出等、ねぐら環境の確保に向けた取組が行われている。 ▶**①③**
- ・ **人による悪影響の緩和：**
河川敷への看板設置による人や車両立入の自粛要請が行われている。 ▶**②**
- ・ **採食環境の保全整備：**
農地等、河川の周辺地域で、二番穂の刈残しや、農薬・化学肥料の使用量を低減した農業の推進、湿地ビオトープの整備等、採食環境の確保に向けた取組が進められている。 ▶**④**

短期目標の評価と取組状況から見えてきた課題

- ・ 特定外来生物の防除を行っているが、十分な抑制には至っていない場所もある。
- ・ いくつかの箇所では、採食環境・営巣環境の保全整備として、農薬・化学肥料の使用量を低減した農業の推進や湿地ビオトープの整備等が行われているが、一部地域に限られるなど、限定的な取組となっている。

短期目標達成に向けた取組（2020～2025年度）

地域・人づくり

農業振興

〈吉野川流域・周辺地域〉

【鳴門市】

- ・「鳴門市コウノトリブランド認証制度(H29年運用開始)」を継続運用、コウノトリブランド商品にれんこん加工品を追加登録

【とくしまコウノトリ基金等】

- ・コウノトリの営巣地周辺で、農業者の協力を得て、ビオトープ米でお酒をつくるプロジェクトを実施
- ・プロジェクトで生産された米、日本酒、味噌を販売（本家松浦酒造場との連携）

〈那賀川流域・周辺地域〉

【小松島市】

- ・「小松島市生物多様性農業推進協議会認証米制度(H22年度運用開始)」を継続運用
- ・上記「認証米制度」で認証された「いのち育むたんぼ米」を地元イベントでPR、ふるさと納税の返礼品として提供
- ・小松島市の小中学校の学校給食に、特別栽培米(ツルをよぶお米等)を提供

〈その他地域・徳島県全域〉

【とくしまコウノトリ基金等】

- ・コウノトリおもてなしれんこんのPRのため、日本野菜ソムリエ協会と連携したイベントの開催や雑誌「めぐる、」へのPR記事の掲載
- ・れんこん販促キャンペーンとして、徳島県産れんこん味わいフェアを開催
- ・関東圏でコウノトリおもてなしれんこんを販売
- ・せとうちマルシェ2024や食の宝島とくしまフェス等イベントへの出展とコウノトリ応援商品の情報発信・販売

【れんこん研究会・コウノトリ定着推進連絡協議会】

- ・特別栽培のコウノトリれんこんを活用したお粥やカレーを四国大学の学生と共同開発
- ・学校給食に数量限定でコウノトリレンコンを提供

【アオアヲナルトリゾート】

- ・ホテル内レストランでのコウノトリのお米「朝と夕」の提供、コウノトリ応援商品の販売

【四国放送、徳島新聞社等】

- ・コウノトリ応援商品の情報発信(地域ニュース、新聞デジタル版等)



ビオトープでお酒を造るプロジェクト
[写真提供：認定NPO法人とくしまコウノトリ基金]



コウノトリれんこんを活用したお粥やカレー・
コウノトリのお酒「朝と夕」
[過年度協議会資料より引用]

短期目標達成に向けた取組（2020～2025年度）

地域・人づくり

観光振興

〈吉野川流域・周辺地域〉

【鳴門地区地域・人づくりワーキング】

- ・観光におけるルールやガイドブック「あわのくにコウノトリHANDBOOK」の作成、観光関連施設での配布

【とくしまコウノトリ基金】

- ・コウノトリ生息地でのエコツアーの試行
- ・板東南ふれあいセンターに、コウノトリの巣の映像をリアルタイムで配信するモニターを設置

【イースト徳島】

- ・サイクリングモデルコース及び体験コンテンツを造成し、コウノトリ営巣場所付近を通るルートを設定

【徳島県観光協会】

- ・鳴門エリアでの教育旅行向けコンテンツの造成

【ツーリズム徳島・JR四国】

- ・コウノトリの観察や生息エリア通るウォーキングイベントの実施

【NPO法人川塾】

- ・コウノトリを育む大谷川カヌーツーリングの実施

【鳴門市】

- ・観察者用の駐車場、観察スペースの設置、立ち入り自粛を求める看板の設置

【鳴門市うずしお観光協会】

- ・「なると物産館」や「道の駅第九の里」の店頭・オンライン店舗において、コウノトリ認証商品やコウノトリ応援商品を紹介、販売
- ・コウノトリをデザインした鳴門市オリジナルデザインTシャツの販売

〈その他地域・徳島県全域〉

【アオアヲナルトリゾート】

- ・SDGs コウノトリ応援 宿泊プランを販売
- ・宿泊者を対象とした「コウノトリれんこん掘り体験」等のイベントの実施



れんこん掘り体験

[画像・写真提供：アオアヲナルトリゾート]



観察者用駐車場、観察足場の設置

[コウノトリ定着推進連絡協議会総会資料より引用]

短期目標達成に向けた取組（2020～2025年度）

地域・人づくり

理解と関心の醸成

〈吉野川流域・周辺地域〉

【鳴門地区地域・人づくりワーキング、とくしまコウノトリ基金】

- ・コウノトリやツル類の普及啓発パネル・動画・Q&Aの作成
- ・各施設における、普及啓発パネルやコウノトリ応援商品等の展示（阿波銀行、鳴門市役所、とくしま動物園等）

【とくしまコウノトリ基金等】

- ・「ナベヅルのデコイづくり」の実施（島田島活性化プロジェクトと連携）
- ・鳴門市堀江北小学校でのコウノトリをテーマとした授業、栃木県小山市の小学校との交流授業の実施
- ・鳴門市板東小学校でのコウノトリをテーマとした環境学習の実施
- ・コウノトリれんこんの収穫体験、コウノトリ観察会の実施

【鳴門市】

- ・市役所の市民ギャラリーでコウノトリのパネルやはく製、応援商品を展示
- ・鳴門市で誕生したコウノトリに住民票を発行、一般配布
- ・福井県越前市白山地区への視察、住民との意見交換

【大麻町商工会】

- ・公式HPでのコウノトリの紹介、コウノトリの観察ルールの説明

【JR四国】

- ・池谷駅・板東駅の駅舎へのコウノトリの普及啓発ポスターの掲示

〈那賀川流域・周辺地域〉

【小松島市】

- ・有機栽培技術講習会を開催し、有機農業栽培技術に関する講義を実施

【阿南市】

- ・小中学校を対象とした「こどもエコクラブ事業」を実施し、那賀川河口干潟における生物観察等、子どもたちの環境保全活動や環境学習を支援

〈その他地域・徳島県全域〉

【吉野川交流推進会議・徳島県県土整備部】

- ・まると吉野川「魅力再発見」講座「コウノトリが棲む地域づくり」の実施

【環境省】

- ・関係団体に対して自然共生サイトや交付金等の支援制度、関連法規等の情報を提供



普及啓発パネル・応援商品等の展示（鳴門市役所）



鳴門市板東小学校での環境学習

[写真提供：認定NPO法人とくしまコウノトリ基金]

短期目標達成に向けた取組（2020～2025年度）

地域・人づくり

資金の調達

〈吉野川流域・周辺地域〉

【鳴門市】

- ・ふるさと納税寄付金のコウノトリのビオトープ整備事業などへの活用

【とくしまコウノトリ基金等】

- ・多面的機能支払交付金を活用して、ビオトープ整備や農村景観の維持活動を実施
- ・日亜ふるさと振興財団等の助成金を活用して、ビオトープの整備、ビオトープ米でお酒をつくるプロジェクト、坂東小学校の環境学習を実施
- ・コウノトリ応援商品の販売金額の一部がコウノトリを守る取組に寄付される仕組みの構築
- ・直売所内にとくしまコウノトリ基金コーナーの設置（本家松浦酒造場と連携）

【アオアヲナルトリゾート】

- ・ホテル内の自動販売機の売り上げの一部をとくしまコウノトリ基金へ寄付

〈那賀川流域・周辺地域〉

【日本野鳥の会徳島県支部・太田川土地改良区】

- ・農林水産省の多面的機能支払交付金を活用して、二番穂の刈り残しを実施

〈その他地域・徳島県全域〉

【徳島県】

- ・多面的機能支払交付金の基本方針として「活動組織間で連携し大型の鳥類（ツル・コウノトリ）を保護する活動」を設定

その他の取組

〈那賀川流域・周辺地域〉

【希少鳥類研究会】

- ・那賀川流域における生態系ネットワークの準指標種として位置付けられているヤマセミ調査等を実施

【佐那河内いきものふれあいの里】

- ・自然保護活動として、野生生物保護活動（シカ食害からの希少種の保護、調査等）やクリーンウォーク（道路のゴミ拾い）、県民からの問合せ対応等を実施

〈その他地域・徳島県全域〉

【環境省】

- ・協議会や関係団体に対する自然共生サイトや交付金等の支援制度、関連法規等の情報提供

【とくしま産業振興機構】

- ・ISO14001内部監査員養成研修を実施



ホテル内4カ所に設置

徳島ペプシコーラ販売×3台

コカ・コーラボトラーズジャパン×1台

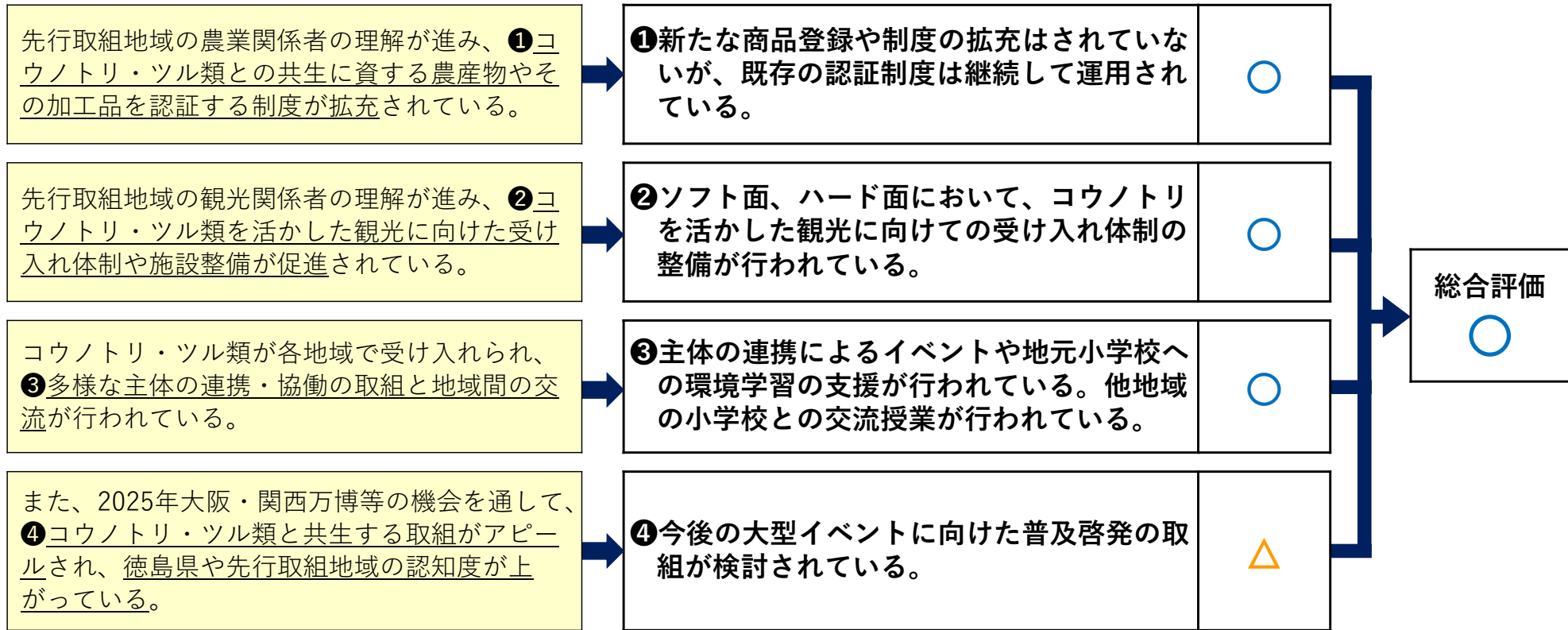
コウノトリ応援自動販売機の設置

[画像・写真提供：アオアヲナルトリゾート]

短期目標達成状況の評価

地域・人づくり

短期目標



取組状況

- 農業振興：**
 既存の「鳴門市コウノトリブランド認証制度」等が継続して運用されている。新たな商品登録や制度は拡充されていないが、コウノトリ認証商品をはじめとする農産物やその加工品が多くの主体により情報発信・販売されている。▶**①**
- 観光振興：**
ソフト面、ハード面においてコウノトリを活かした観光の受け入れ体制の整備が進められている。▶**②**
- 理解と関心の醸成：**
 各主体により、地域住民や来訪者等への普及啓発や情報発信が行われている。主体の連携によるれんこんの掘りとり体験等のイベントや地元小学校への環境学習の支援が実施されている。▶**③**
 大規模集客イベントのインバウンド対応として、英語版の普及啓発パネルや動画、Q&A資料が作成されたが十分な活用がされていない。一方で、今後の大型イベントに向けた取組として、広報資料等の作成・活用が検討されている。▶**④**

地域・人づくり

短期目標の評価と取組状況から見えてきた課題

- ・ 認証制度や、農産物・加工品を認証することによる生産者のメリットが、農業関係者・生産者に十分に伝わっていない、またはメリット自体が不十分である可能性がある。
- ・ ツル類を活かした観光に向けた受け入れ体制や施設整備が進んでいない。
- ・ 観光に向けた受け入れ体制の整備と、コウノトリ・ツル類への影響のバランスが難しい。
- ・ コウノトリ・ツル類と共生する取組の広域へのアピールが十分にできていない。
- ・ 広く関心を持ってもらうために、協議会のネットワークを活用した情報発信が必要。
- ・ 活動団体からも、「情報発信」、「後継者の育成」、「連携」の必要性が求められている。

中期目標(2026～2030年度)に向けた取組の方向性(案)

■中期目標に向けた取組の方向性(案)

中期目標 ～2030年	
<p style="text-align: center;">生息環境づくり</p> <p>【コウノトリ】 吉野川流域で、3～5ペアのコウノトリが繁殖し、安定した生息地となっている。那賀川・勝浦川流域周辺でも、コウノトリが繁殖している。また、徳島県内の<u>他地域</u>においても、<u>採食環境と営巣環境の保全整備が進められている</u>。</p> <p>【ツル類】 徳島県内へのツル類の渡来、越冬が続いている。吉野川、那賀川、海部川等の河川区域及び周辺地域で、ねぐら環境、採食環境の保全整備、人の利用の調整が継続して行われている。また、徳島県内の<u>他地域</u>においても、<u>ねぐら環境、採食環境の保全整備が進められている</u>。</p>	<p style="text-align: center;">地域・人づくり</p> <p>○徳島県内の各地で関係者の理解が進み、コウノトリ・ツル類との共生に資する農産物やその加工品のブランド化が行われ、<u>国内外への流通・販売が展開されて、経済効果を上げている</u>。</p> <p>○徳島県内の各地で関係者の理解が進み、<u>コウノトリ・ツル類を活かした観光が行われ、経済効果を上げている</u>。</p> <p>○多様な主体の<u>連携・協働</u>の取組と地域間の交流がさらに拡大している。コウノトリ・ツル類との共生に取り組む徳島県や各地域の地域イメージが向上し、地域の関係人口が増えている。</p>

これまで(短期目標 2020～2025)：主に、各団体・組織がそれぞれの活動場所で、それぞれの取組を推進してきた。



これから(中期目標 2026～2030)：これまでの取組を継続しつつ、中期目標を見据えて協議会構成員での連携を強化する必要がある。

- ① 主体間の連携促進を図るため、協議会(事務局)が中心となり、各主体と連携し、組織的に取組む「重点プログラム」を設定し、取組や連携の活性化を図る。
(取組案)：湿地整備体験会や外来種駆除会の開催、環境学習の支援 等
- ② それぞれの取組をさらに拡大・拡充していく。
協議会(事務局)が中心となり、取組の拡大・継続・活性化のための仕組み・仕掛け(連携ツールや取組事例や普及啓発用資料)の検討、試行を行う。
(取組案)：情報共有ツールやポータルサイトの構築 等

参考：他河川での取組事例

流域環境の保全・創出に関する活動アイデア（他エリアの活動事例）

エリア内水田の動物量調査 （渡良瀬遊水地エリア）

- 協議会事務局による各市水田調査と結果の公表（栃木市、小山市、野木町、古河市、板倉町、加須市、結城市、五霞町、境町、久喜市）



出典：渡良瀬遊水地エリアエコロジカル・ネットワーク推進協議会資料

ビオトープ整備 （斐伊川流域）

- 流域3箇所において地域連携によるビオトープ整備を実施

野尻の郷 土水路ビオトープの例

設置者：農事組合法人野尻の郷・NPO法人いずも朱鷺21



※公益財団法人日本生態系協会がサントリー世界愛鳥基金を活用して取り組んでいる「コウノトリ定着・広域ネットワーク推進プロジェクト」のなかで実施。斐伊川水系生態系ネットワークによる大型水鳥類と共に生きる流域づくり検討協議会へ報告

出典：斐伊川水系生態系ネットワークによる大型水鳥類と共に生きる流域づくり検討協議会資料

河道内湿地再生箇所の利活用 （木曾三川流域）

- イタセンパラ等のすむワンド再生工事の見学会（地元小学校等と連携）
- 再生ワンドの合同モニタリング調査（地元高校部活動等と連携）



出典：木曾三川流域生態系ネットワーク推進協議会資料

小学校ビオトープの整備支援 （木曾三川流域）

- イタセンパラ等のすむ木曾川ワンドの環境を模した地元小学校「ジャブジャブ池」整備にあたって、協議会関係者が整備や事後モニタリング調査に協力



出典：木曾三川流域生態系ネットワーク推進協議会資料

地域連携による連続性再生 （遠賀川流域）

- 樋管等に接続する堤内外の水路で段差改善や魚道設置を実施



川表排水路の整備
（いずれも御徳地区）

川裏整備（左：斜路設置／右：簡易魚道）

出典：遠賀川流域生態系ネットワーク形成推進協議会資料

地域連携による外来植物駆除 （遠賀川流域）

- 特定外来生物の勉強会を実施
- 特定外来生物（オオキンケイギク）の駆除会を実施（春の一斉清掃にあわせて実施）



出典：遠賀川流域生態系ネットワーク形成推進協議会資料

地域連携によるデコイ設置 （四万十川流域）

- 河道内再生湿地や周辺水田等にデコイを設置しツル類を誘引



出典：四万十川流域生態系ネットワーク推進協議会資料

ツル類観察マナーの周知 （四万十川流域）

- 河道内再生湿地や周辺水田等にツル類観察マナー看板を設置



出典：四万十川流域生態系ネットワーク推進協議会資料

参考：他河川での取組事例

取組や連携の活性化・地域振興に関する活動アイデア（他エリア活動事例）

3市連携イベント企画 (利根運河周辺エリア)

令和7年度東武健康ハイキングへの参加

- 内容: 令和5年度実績を踏まえて詳細を検討する
 - 時期: 令和7年度 秋～初春
 - コース: 利根運河および利根川・江戸川も含めて検討
 - テーマ: エコツーリズム(野鳥や植物の観察・展示スポットの設置)、アグリツーリズム(地域の飲食店・商店との連携、運がいい! 朝市と同時開催)等
- ※前年9月中の申込が必要のため本年度は検討まで



参考. R5東武健康ハイキング利根運河コースマップ

その他の3市周遊企画の検討

- 過年度の利根運河協議会等における意見を踏まえ、以下の実施を検討(または試行)する。
 - ・期間開催ウォーキングイベントやスタンプラリー(マップ&クーポン付き小冊子の販売・自由参加形式)
 - ・サイクリングイベントや既往のサイクリングコースをまとめたデジタルマップ作成
 - ・利根運河エリアにおける電動キックボードの実証実験

取り組みの広報 (利根運河周辺エリア) ポータルサイトの立ち上げ

- 前コウノトリ連絡協議会で試験版を作成したWEBサイトを更新し、自然と人を育む地域づくりポータルサイトを作成する。(各市・団体活動とのリンクや広報資料のダウンロードサービスを実装、その他のアイデア等について要相談)。



<https://sites.google.com/view/edotone00181>

広報ツールの更新・作成

- 前コウノトリ連絡協議会の資料(コウノトリ観察マナー啓発資料等)については、順次、協議会名を更新して配布中(できたものから活用依頼を発信予定)。
 - 推進協議会PRパンフレット、ニュースレターを作成。今後、詳細(内容・役割分担・頻度等)について相談していく。
- ※推進協議会のロゴマークについては、デザインや選定方式(公表または各市施設等での投票形式等)など、必要性も含めて相談していく。

各種行事への出展 (利根運河周辺エリア)

- 3市の施設や周辺で開催される催事へ出展し、利根運河周辺エリアの魅力や推進協議会の取り組み等についてPRする(ブース出展や資料提供など適宜調整して行う)。

[出展候補例] 運河駅ギャラリー、野田市こうのとり、の里、柏市あけぼの農業公園、ジャパンバードフェスティバル、野田市みどりと水のまちづくりフェスタ等

野田市みどりと水のまちづくりフェスタ出展例(H30.4.29利根運河協議会)



アンケート調査の実施 (利根運河周辺エリア)

取り組みニーズ把握アンケート調査(計画立案)

地域経済へ寄与する取り組み検討のため、地域の事業者への課題の聞き取りなどを実施予定(対象地域・対象者・設問項目等について要調整)。

取り組み効果把握アンケート調査(計画立案)

協議会の取り組み効果を把握するため、地域住民や来訪者等へのアンケート調査を実施予定。学識委員への相談を踏まえ、指標の検討から行う(対象地域・対象者・設問項目等について要調整)。

※計画策定(目標設定)後の実施を想定

協議会ロゴマーク一般投票

協議会PRを兼ねて、3市の施設・催事にロゴマーク投票用パネルを設定し(シール形式・期間限定)、一般投票でマークを決定。



[事例] 利根運河の好きな花シール投票パネルの設置(利根運河協議会)→

SNSスタンプ・缶バッジの作成

地域のシンボルとなる生物・特産品等をデザインしたグッズを作成。アンケート回答者や協議会関係者主催行事参加者への配布を想定。



[事例] 荒川流域エコネット5市町をイメージした缶バッジ

野田市LINEスタンプ

新たな地域関係者との連携促進

エリア内(11市町)の自然・文化に関する活動団体や施設関係者へアプローチし、各種取り組みの連携促進を図る(各団体の意見等を踏まえた行事への参加・協力等)。

[候補案] 利根運河シアターナイト実行委員会、運河文化構想(カナルアーツ)、あけぼの山農業公園、関宿城博物館、流山物流施設関連会社...等

参考：他河川での取組事例

取組や連携の活性化・地域振興に関する活動アイデア（他エリア活動事例）

日帰り体験ツアー （渡良瀬遊水地エリア）

- 旅行会社との連携による日帰りツアー
- 体験内容：地引網＆投網体験、煉瓦づくり体験や名物なまず料理等



出典：関東地方整備局HP 渡良瀬遊水地エリアエコロジカル・ネットワーク推進協議会資料

野鳥観察会ツアー （斐伊川流域）

- 旅行会社との連携による日帰りツアー
- 体験内容：コウノトリの観察、湖岸散策・宍道湖の水鳥観察、展示の見学・野鳥観察、水田の水鳥観察・ねぐら入りの見学等



出典：第5回斐伊川水系生態系ネットワークによる大型水鳥類と共に生きる流域づくり検討協議会

コウノリマルシェ （荒川流域）

- 鴻巣市の特産品「こうのとり商品」の販売・展示会
- 鴻巣市主催イベントにエコネット推進協議会ブース出展



出典：鴻巣市HP コウノトリ野生復帰センター 天空の里

ワタラセコウノリマルシェ （渡良瀬遊水地エリア）

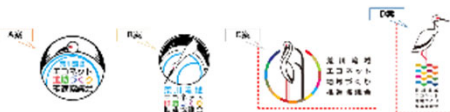
- クラフトビールや小山産野菜、地元食材を使ったお菓子や調味料を販売
- 取組主催：民間事業者、渡良瀬遊水地コウノトリ交流館



出典：小山市HP 観光・文化 小山の魅力 自然・景観コウノトリトキ コウノリマルシェ2024

ロゴ・缶バッジデザインの作成 （荒川流域）

- 「荒川流域エコネット地域づくり推進協議会」ロゴマークの作成
- 自治体の施設でロゴマークの一般人気投票を実施



●缶バッジデザインの作成



出典：荒川流域エコネット地域づくり推進協議会

ポータルサイトの作成・SNSの運営 （荒川流域）

- 協議会の活動や流域内のイベント等を掲載した「ポータルサイト」を作成
- 「X(旧Twitter)」や「Instagram」の運営



出典：荒川流域エコネット地域づくり推進協議会ポータルサイト

SNS運営・ニュースレター発行 （木曾三川流域）

- ニュースレターの定期発行（年4回程度）
- ニュースレターでは、流域で開催されるイベントや講演会、外来種駆除イベント、希少種の勉強会の様子を発信



出典：木曾三川流域エコネット応援団 Facebook/Instagram